



2019年3月期

# 連結決算の概要

## テルモ株式会社

代表者 代表取締役社長 CEO 佐藤 慎次郎

問合せ先責任者 広報室長 大曲 昌夫

TEL : 03-6742-8550

E-mail : [kouhou\\_terumo01@terumo.co.jp](mailto:kouhou_terumo01@terumo.co.jp)

URL : <https://www.terumo.co.jp/>

2019年5月9日

# 2019年3月期決算概要

テルモ株式会社  
常務執行役員  
北畠 一明

2019年5月9日

## 売上・利益ともに修正業績予想通りの着地

(億円)

	17年度	18年度	増減率	為替除く 増減率
売上収益	5,878	5,995	+2%	+3%
売上総利益	3,193 (54.3%)	3,265 (54.5%)	+2%	+4%
一般管理費	1,710 (29.1%)	1,787 (29.8%)	+4%	+5%
研究開発費	413 ( 7.0%)	477 ( 8.0%)	+15%	+15%
その他収益費用	16	65	-	-
営業利益	1,086 (18.5%)	1,066 (17.8%)	-2%	+2%
<b>調整後営業利益</b>	<b>1,249 (21.3%)</b>	<b>1,221 (20.4%)</b>	<b>-2%</b>	<b>+1%</b>
税引前利益	1,066 (18.1%)	1,027 (17.1%)	-4%	
当期利益	913 (15.5%)	795 (13.3%)	-13%	

期中平均レート  
USD 111円 111円  
EUR 130円 128円

- 売上収益 : 愛鷹工場出荷遅延は解消し、全カンパニーがプラス伸長へ
- 調整後営業利益 : 心臓血管の回復に伴い、減益幅がQ3累計と比較し大幅に縮小
- 税引前利益 : 前年度は為替差損5億に対し、今年度は差損が38億に拡大
- 当期利益 : 前年度は米国税制改革による一過性プラス要因(153億)

# 調整後営業利益：調整額

(億円)

	17年度	18年度
営業利益	1,086	1,066
調整① 買収無形資産の償却費	+145	+146
調整② 一時的な損益	+19	(※) +9
調整後営業利益	1,249	1,221

## ※調整項目

- 買収関連費用
- 訴訟関連損益
- 減損損失
- 事業再編費用
- 損害保険収入
- 災害による損失
- その他一時的な損益

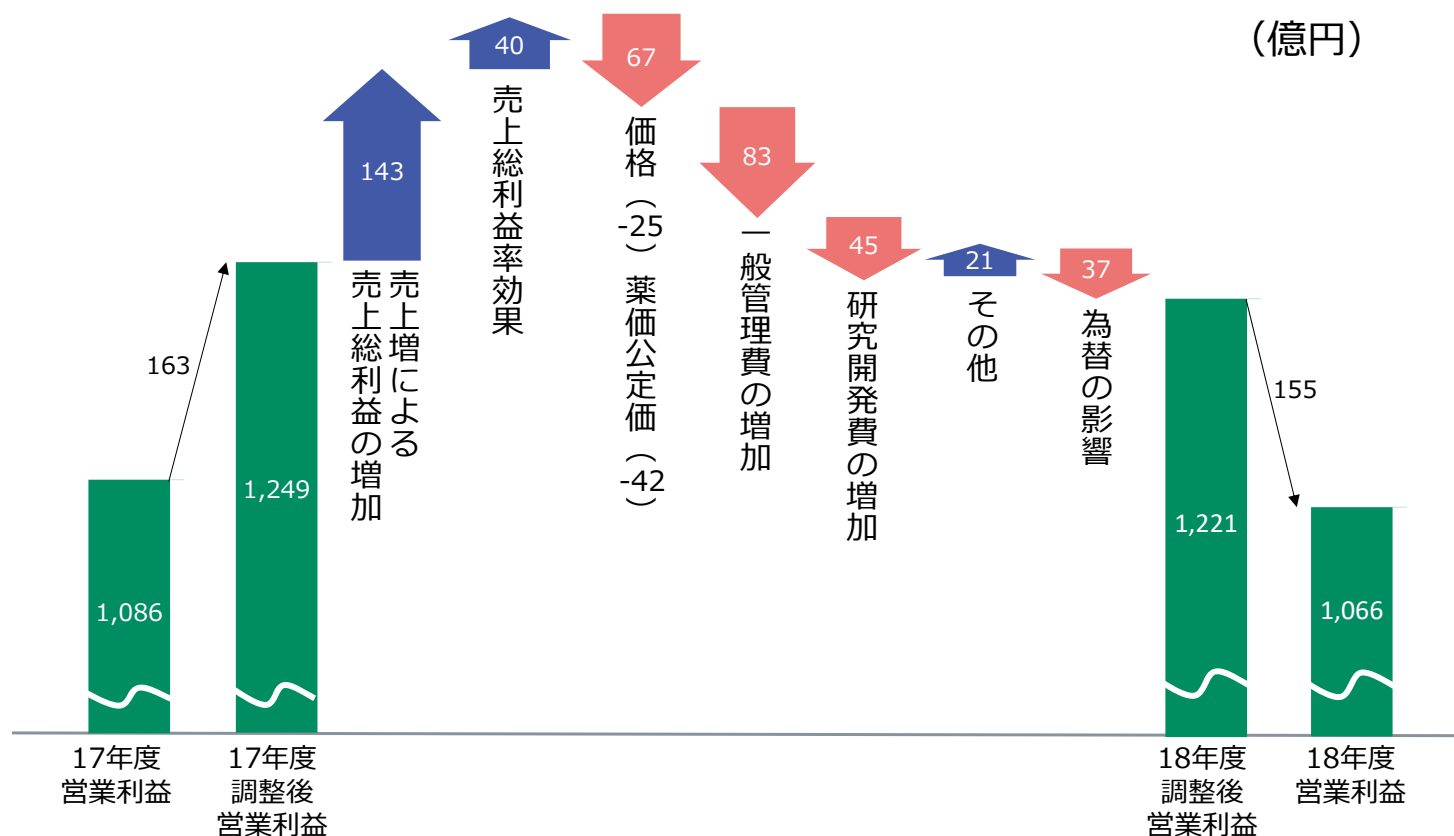
(※) 18年度 調整②「一時的な損益」の主な項目	調整額
ニューロWEB マイルストーン支払い引当計上 (-20)	+20
和解金受取 (+23)	-23
プエルトリコ工場災害保険金受取 (+16)	-16
ベンチャー開発投資除却 (-10)	+10
固定資産除却損等 (-11)	+11
買収アドバイザー費用等 (-7)	+7



3/14

# 調整後営業利益増減分析

(億円)



4/14

# 地域別売上収益

18年度  
17年度

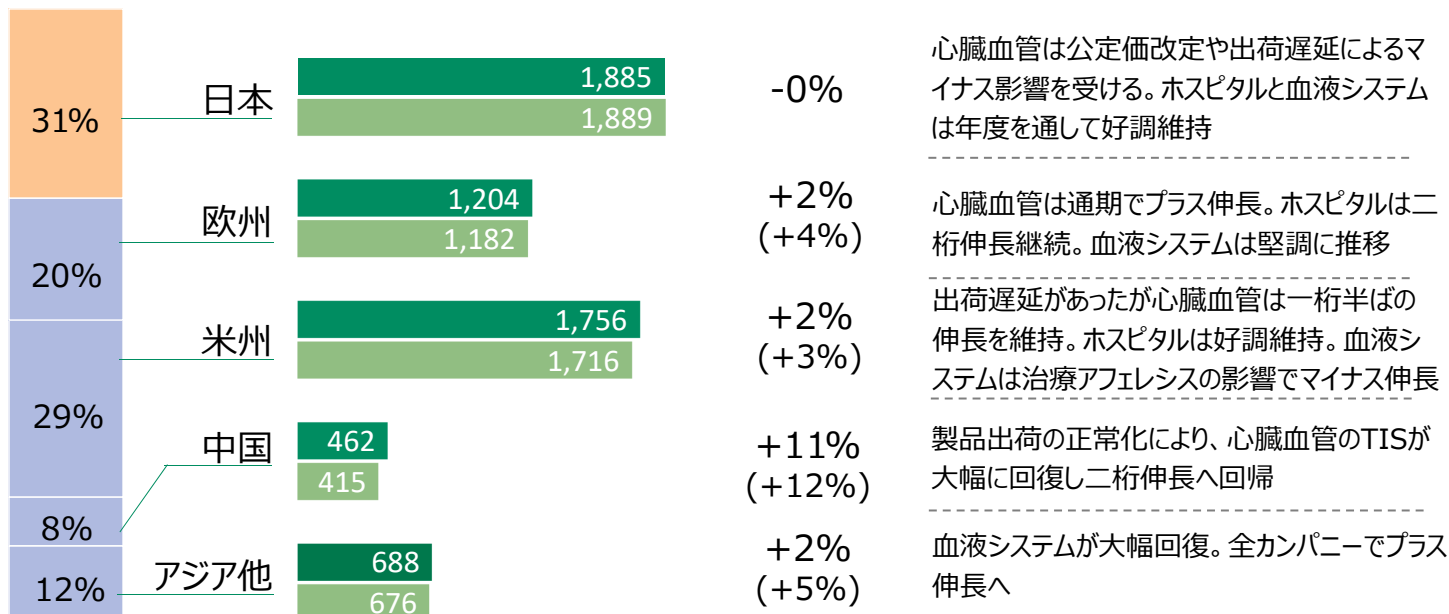
## 売上収益

100% = 5,995億円

## 売上収益前年比較

金額(億円) 増減率 コメント

( ) 内は為替影響除く



TERUMO

5/14

# カンパニー別売上収益

18年度  
17年度

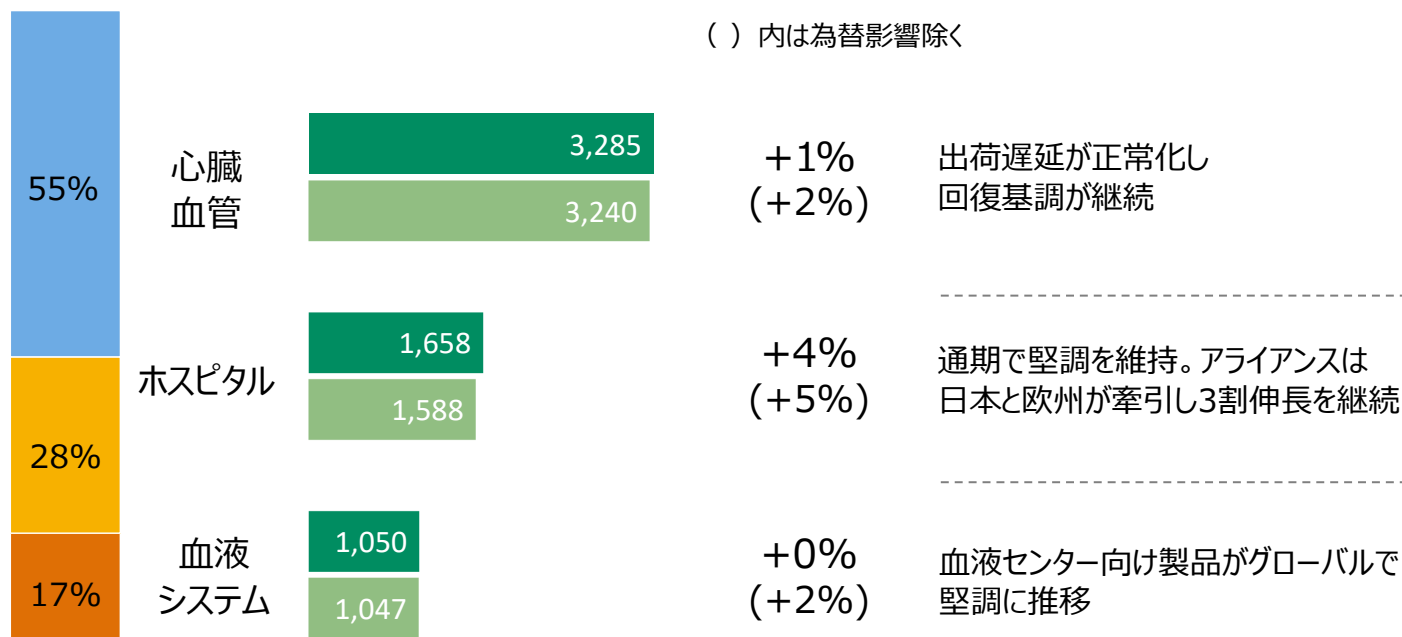
## 売上収益

100% = 5,995億円

## 売上収益前年比較

金額(億円) 増減率 コメント

( ) 内は為替影響除く



TERUMO

6/14

# 心臓血管：出荷遅延の影響を乗り越え増収

(億円)

	17年度	18年度	増減率	主なトピック	金額
( ) 内は為替影響除く					
売上収益	3,240	3,285	+1% (+2%)	TIS : 公定価改定や出荷遅延の影響を乗り越えプラス伸長へ回帰 ニューロ : 通期で二桁伸長を継続 CV : 次期血液モニターへの切り替え遅れ 血管 : 国内ステントグラフトの直販移行準備	+2 +47 -3 -1
調整後営業利益(率)	836 (26%)	809 (25%)	-3% (-1%)	TIS製品における売上収益の回復により、Q3累計と比較し減益幅が大幅に縮小	

# ホスピタル：全事業が売上堅調

(億円)

	17年度	18年度	増減率	主なトピック	金額
( ) 内は為替影響除く					
売上収益	1,588	1,658	+4% (+5%)	医療器 : 国内で輸液ラインに加えポンプや閉鎖式抗がん剤投与システムが牽引 医薬品 : 輸液剤や疼痛緩和が好調。癒着防止材の売上が継続拡大 DM・ヘルスケア: DM事業は堅調に推移 アライアンス : 日本と欧州が牽引し3割伸長	+14 +11 0 +47
調整後営業利益(率)	268 (17%)	268 (16%)	+0% (+0%)	高付加価値製品の伸長が研究開発費増を吸収し増益。山口工場の償却は19年度から本格化	

# 血液システム：売上堅調、利益はプラス伸長へ回復

(億円)

	17年度	18年度	増減率	主なトピック	金額
( ) 内は為替影響除く					
売上収益	1,047	1,050	+0% (+2%)	血液センター：血液自動製剤システムなどの牽引によりグローバルで堅調 アフレス治療：昨年度の特需の影響を受けマイナス伸長	+28 -26
調整後営業利益(率)	151 (14%)	157 (15%)	+4% (+13%)	予定通り米政府からの研究開発助成金がQ4にあり増益へ	

## 18年度 主なトピックス

### 全社

- サテライトオフィス開設、ウェアラブル端末配布など、働き方改革と健康経営を推進
- 5年連続「健康経営銘柄」に選定(2月)
- 5製品がグッドデザイン賞を受賞。テルモとして23年連続の受賞(10月)

### 事業

- 薬剤溶出型ステント「Ultimaster Tansei」、欧州発売(5月)、日本発売(9月)
- 米デクスコム社より、持続血糖測定器の日本・独占販売権取得(5月)、発売(2月)
- アライアンス事業のPFS生産設備増設を決定：テルモ山口D&Dで約70億円(7月)
- 受託製造している薬剤充填用注射器「PLAJEX」採用のバイオシミラー、欧州導入(12月)
- 脳動脈瘤治療用の袋状塞栓デバイス「WEB」、米FDA承認取得(12月)
- 薬剤溶出型ステント専門メーカー中国エッセン・テクノロジー社を買収(12月)
- TIS生産体制強化の為、ベトナム工場新棟建設に向けた150億円の投資決定(2月)

# 18年度パイプライン製品のローンチ状況

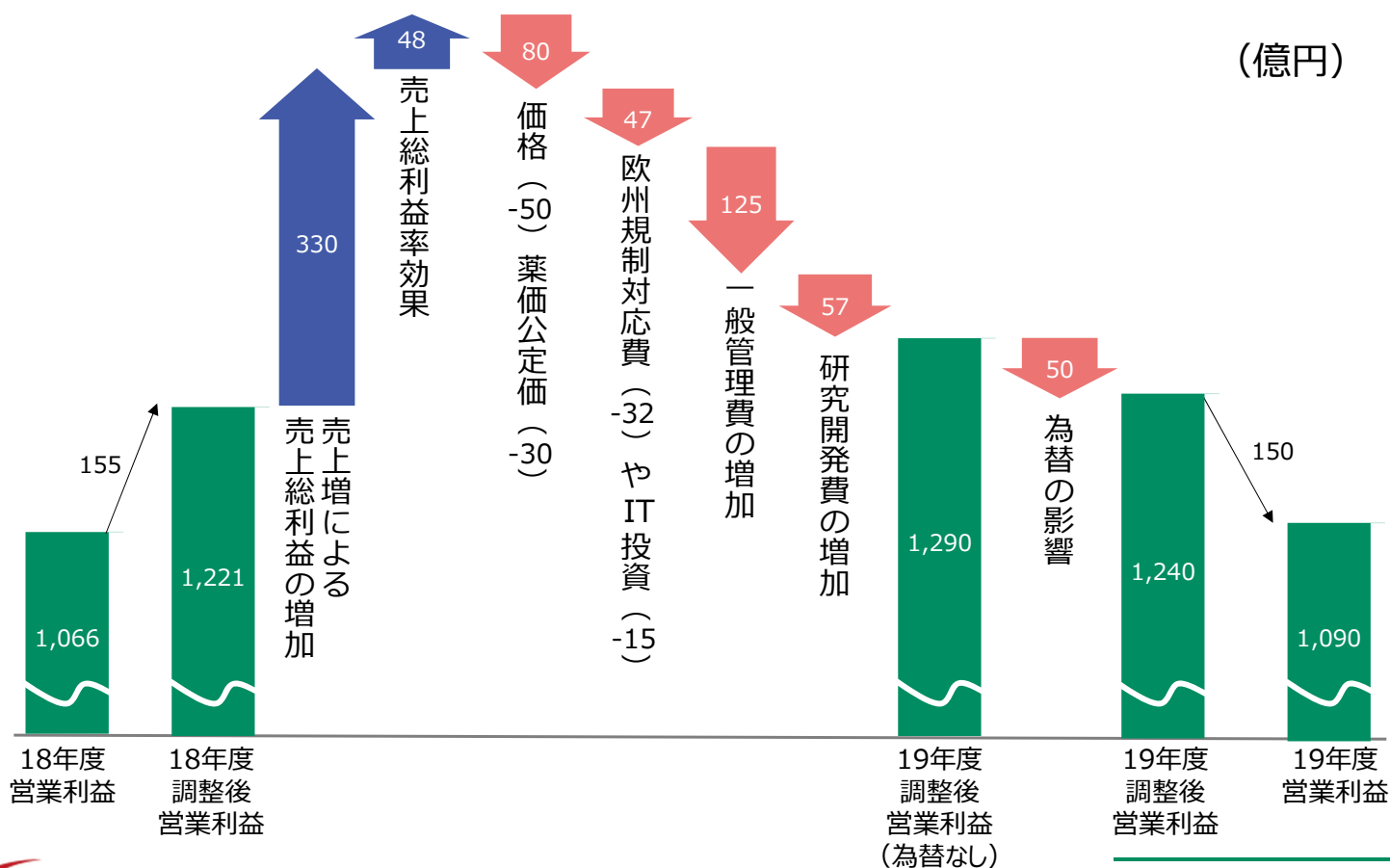
領域	製品	地域	ローンチ	領域	製品	地域	ローンチ	
アクセス	ディスタラジアル用止血デバイス	日	FY19	CV	次世代人工肺	欧米	済み	
							日	FY19
心臓	PTCAバルーン	米	済み		次期血液モニター	欧米亜	済み	
	PTCAバルーン	日	済み	血管	胸部用ステントグラフト (低プロファイル)	欧	済み	
		欧亜	FY19			腹部用ステントグラフト (アナコンダ細径)	欧	済み
	DES (Ultimaster Tansei)	日欧亜	済み	医療器	静脈可視装置	日	済み	
ペリ フェラル	ステント (TRI)	日米	FY19	DM	パッチ式インスリンポンプ	日	FY19上期	
	PTAバルーン (TRI)	日米	済み	血液	次期成分採血装置ソフトウェア	欧米亜	済み	
	PTAガイドングシース (TRI)	日米	済み			血液自動製剤システム・新ディスポ	欧米亜	済み
	薬剤塗布バルーン	欧	FY19					
脳	中間カテーテル (Sofia EX)	欧米	FY19上期					
	ミニ・バルーン	欧米	FY19上期					

# 19年度業績予想

	(億円)			
	18年度 実績	19年度 業績予想	増減率 (為替除く増減率)	16~19年度 CAGR
売上収益	5,995	6,350	+6% (+8%)	+7%
営業利益 (率)	1,066 (17.8%)	1,090 (17.2%)	+2% (+7%)	+7%
調整後営業利益 (率)	1,221 (20.4%)	1,240 (19.5%)	+2% (+6%)	+6%
当期利益	795	810	+2%	+14%

為替レート      USD 111円      108円  
                          EUR 128円      123円

# 業績予想 調整後営業利益



## 19年度業績予想

	売上収益		調整後営業利益		コメント
	金額 (億円)	増減率	金額 (億円)	増減率	

( ) 内は為替影響除く

( ) 内は為替影響除く

心臓血管	19年度	3,570	+9% (+12%)	24%	850	TIS事業の売上収益は二桁伸 長へ回帰。公定価改定、為替の 影響
	18年度	3,285		25%	809	

ホスピタル		1,710	+3% (+4%)	15%	255	モメンタムは堅調継続。 アライアンス事業において 山口工場増設の償却費増
		1,658		16%	268	

血液システム		1,070	+2% (+5%)	14%	155	血液センター向け中心に堅調。 為替の影響
		1,050		15%	157	



## 2019年3月期 補足資料 (IFRS)

### セグメント別売上概況

(単位:百万円)

%=前年比

	2018年3月期			2019年3月期					
	日本	海外	合計	日本	%	海外	%	合計	%
TIS	37,787	185,402	223,189	32,602	-13.7%	190,742	2.9%	223,345	0.1%
ニューロバスキュラー	3,061	32,365	35,427	3,267	6.7%	36,890	14.0%	40,158	13.4%
CV	10,306	34,753	45,059	10,009	-2.9%	34,787	0.1%	44,796	-0.6%
血管	2,830	17,494	20,325	1,967	-30.5%	18,232	4.2%	20,200	-0.6%
心臓血管カンパニー	53,985	270,015	324,001	47,846	-11.4%	280,653	3.9%	328,500	1.4%
医療器	50,283	26,198	76,481	51,498	2.4%	26,406	0.8%	77,904	1.9%
D&D	42,474	-	42,474	43,388	2.2%	-	-	43,388	2.2%
DM・ヘルスケア	21,085	3,093	24,179	20,938	-0.7%	3,117	0.8%	24,056	-0.5%
ホスピタルシステム小計	113,843	29,292	143,135	115,825	1.7%	29,524	0.8%	145,349	1.5%
アライアンス	8,877	6,835	15,712	12,038	35.6%	8,377	22.6%	20,416	29.9%
ホスピタルカンパニー	122,720	36,127	158,848	127,864	4.2%	37,902	4.9%	165,766	4.4%
血液システムカンパニー	11,933	92,763	104,697	12,540	5.1%	92,444	-0.3%	104,984	0.3%
その他	216	12	228	217	0.4%	13	8.3%	230	0.8%
計	188,856	398,919	587,775	188,468	-0.2%	411,013	3.0%	599,481	2.0%

(期中平均為替レート)

(USD1=¥110.85)  
(EUR1=¥129.66)

(USD1=¥110.92)  
(EUR1=¥128.44)

### キャッシュ・フロー計算書 (要約)

	2018年3月期	2019年3月期
営業キャッシュ・フロー	114,562	93,571
投資キャッシュ・フロー	△ 44,105	△ 74,792
フリーキャッシュ・フロー	70,457	18,778
財務キャッシュ・フロー	△ 4,132	△ 67,540
現金及び現金同等物の換算差額	△ 3,538	3,912
現金及び現金同等物の増減	62,786	△ 44,849
現金及び現金同等物の期首残高	105,046	167,832
現金及び現金同等物の期末残高	167,832	122,982

### 参考情報

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
研究開発費	41,342	47,681	50,000
設備投資額	43,620	60,845	75,000
減価償却費及び償却費	42,035	44,035	49,000
基本的な一株当たり当期利益(円) <sup>*1</sup>	129.56	108.70	109.03

\*1 当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「基本的な一株当たり当期利益」を算定しております。

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があります。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。